

SCUNA 導入を契機とした STEMI 診療体制改善の長期的影響に関する検討

1. 研究の対象

2012 年 6 月 1 日から 2024 年 7 月 31 日までに、当院へ ST 上昇型急性心筋梗塞 (ST-elevation acute myocardial infarction : STEMI) にて搬送された方

2. 研究目的・方法

ST 上昇型心筋梗塞 (STEMI) は、できるだけ早く血流を再開する治療を行うことが重要です。そのため、救急搬送から治療開始までの時間を短縮するためのさまざまな取り組みが行われています。

当院では、2018 年 6 月から 2024 年 7 月まで、宇城・上益城地区の救急隊と連携し、救急車内で記録した心電図を病院へ送信できるクラウド型病院前心電図伝送システム (以下、SCUNA) を運用しました。このシステムにより、患者さんが病院へ到着する前から、救急外来や循環器内科、心臓カテーテル治療室の準備を始めることが可能となります。これまでの当院での研究で、SCUNA 導入後に治療開始までの時間が短縮したことが確認されました。しかし、その効果が長期間にわたって維持されているか、また心筋障害の程度やその後の経過にどのような影響を与えているかについては十分に明らかになっていません。本研究では、当院で STEMI の治療を受けられた患者さんの診療情報を用いて、SCUNA 導入による救急医療体制の改善が診療時間や治療成績にどのような影響を与えたかを検討します。また、SCUNA を実際に使用した場合の効果についてもあわせて評価します。

この研究では、診療を通じて得られた情報を収集・分析し、研究のために新たな情報収集をお願いすることはありません。

3. 研究に用いる情報の種類

来院から再灌流までの時間、発症から再灌流までの時間、peak CPK、ICU/HCU 滞在期間、在院日数、心エコー検査データ 等

情報の利用開始予定日 : 2026 年 8 月 13 日

4. 研究の期間

2026 年 8 月 13 日～2028 年 12 月 31 日

5. 個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。氏名や患者 ID などの個人を直接特定できる情報を解析用データから削除し、研究用 ID を付して管理します。患者 ID と研究用 ID の対応表は解析データとは別に、院内のセキュリティ管理された環境で保管し、外部に漏れないよう取り扱います。研究成果は学会や医学雑誌で発表する予定です。手術画像や動画を使用する場合も、氏名、患者 ID、撮影日時など個人を特定できる情報を削除し、個人が特定されることはありません。

〔研究情報管理責任者〕循環器内科 鵜木 崇

〔個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

済生会熊本病院 循環器内科 鵜木 崇

住所 熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号

電話番号 096-351-8000（病院代表）

以上